

秋も深まり、肌寒くなってきました。ところが世間には、季節を問わず常にあつい人がいます。とくに今 あつい魂を持つ研究者たちが、ユーモアあふれる語り口で書いた本が話題沸騰中。そこで、ここではおもに生物学者たちが奮闘する本を紹介します。秋の夜長のお供にどうぞ。



光文社新書
『バッタを倒しにアフリカへ』
前野ウルド浩太郎

「バッタに食べられたい。」という夢をかなえるべく、いざアフリカへ！情熱を持って突進する姿がかっこいい。



講談社文庫
『カラスの教科書』松原始

忌み嫌われている身近な鳥、カラス。でもぞれて人間の勘違いが原因かも。読めばカラスに愛着がわいてくる本。

小学館ビッグコミックス『へんなもの みっけ！』
早良朋【マンガなので禁帯出です。あしからず。】

博物館の裏側のお仕事が、楽しく学べます。それにしても研究員ってこんなに変人ぞろい（本人たちはとても真剣）でいいのかな？



新潮社
『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。』川上和人

もともと鳥が好きだった訳ではないが、今や鳥への愛情がハンパない著者。そして笑える文章への執念もあつい！



みなさんは ちまたで大人気の本が、すでに狭山中学校図書館にあることを知っていますか？たとえば最近入ってきた本のうち、大阪狭山市立図書館での予約件数が多いものを紹介すると、以下のようになっています。【書名の後の数字は 10月16日現在の予約件数です】

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ★恩田 陸『蜜蜂と遠雷』 83件 | ★池井戸 潤『アキラとあきら』 55件 |
| ★東野 圭吾『素敵な日本人』 54件 | ★佐藤 愛子『九十歳。何がめでたい』 38件 |
| ★辻村 深月『かがみの孤城』 34件 | ★森 絵都『みかづき』 33件 |
| ★星野 源『いのちの車窓から』 29件 | ★塩田 潤『罪の声』 28件 |
| ★池井戸 潤『花咲舞が黙ってない』 24件 | ★村田 沙耶香『コンビニ人間』 20件 |

市立図書館では借りるまでに何ヶ月もかかる本（人気本は複数冊所蔵する場合があります）でも、中学校図書館なら比較的すぐに借りられます。

これを利用しない手はありませんよね！



ただし、人気本は特に返却期限日を守って下さい。貸出し中の本に予約が入った場合、返却期限を過ぎるとすぐにとくそく督促（「早く返して下さい」の用紙を発行）します。みんなが気持ちよく読めるよう、ご協力をお願いします。

10月・11月の開館日(白マス)

月	火	水	木	金
10/16	17	18	19	20
23	24	25	26	27
30	31	11/1	2	3
6	7	8	9	10
13	14	15	16	17
20	21	22	23	24
27	28	29	30	

11月15日(水)、本の展示会を行います。場所と時間は、決定後お知らせします。